

外国語科（英語）調査資料 作成の観点

書名	<div style="font-size: 2em; letter-spacing: 1em;">○○○○ ○○○○○</div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
項目		
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○外国語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き，これらの知識を理解することができるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>○読むこと，書くことに慣れ親しみ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付くように、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め，他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <p>○単元などの時間のまとまりごとに、五つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるようどのような工夫をしているか。</p> <p>○文及び文構造について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げており、用語や用法の指導に偏ることのないよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○必要となる語彙を言語活動と効果的に関連付けて取り上げられており、実際のコミュニケーションにおいて活用されるよう、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○図書の内容と一体のものとして、視聴覚教材などが相互に適切に関連が図られるよう、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵、写真等の資料にはどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○字体、記号・符号、用語等の使い方には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○文字の大きさ・行間等には、どのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

<p>書名 項目</p>	<p>NEW HORIZON Elementary English Course</p>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○単元で使われる基本的な語彙等の歌やチャンツを使った活動と「Sounds and Letters」でアルファベットの文字と音を知る活動が毎時間ある。「Let's Watch」「Let's Listen」で視覚や音声から基礎知識を習得できるように工夫されている。 ○「Let's Try」で慣れ親しんだ表現を活用して、友達とやり取りを行い、「Small Talk」には Small Talk の参考となるトピックが掲載され、さらに、「Enjoy Communication」で学習内容を振り返りながらコミュニケーションを図る工夫がされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○導入「Starting Out」では、単元の学習内容に慣れ親しみ、展開「Your Turn」では、学習した語彙や表現を使ったペアやグループでのやり取りを通し、学習内容の定着が図られるように工夫されている。まとめ、「Enjoy Communication」では、単元で学習した表現力を確認し、それらをもとに会話の内容を広げる。また、年間3回、思考ツールを使って、内容を整理し発表する「Check Your Steps」がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「Enjoy Communication」では、単元の目標となる活動を行う「Your Goal」を視野に入れ、学習した内容を使って自分の考えや思いをペアで伝え合いながら、話題を広げられるような工夫がされている。また、各単元の最後には、世界の文化を知ることによって児童の視点を世界に広げて、英語を学ぶ意欲を高めるために、パートを用意するなどの工夫がされている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫> ○5つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるように、各活動にマークで示されている。 ○各単元の目標達成に向けて、スパイラルに活動が配置され、5領域がスモールステップで、バランスよく扱われている。各単元の主な表現は「Let's Chant」や「Small Talk」等で繰り返し扱われ、文構造等の気付きにつながるよう工夫されている。 ○英語を使用する日常の場面が設定されており、日本や世界・SDGs など、段階的に児童の視野を広げ、児童が主体的に取り組むことができる目的・場面・状況を伴った言語活動が工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭には5年生「日本でつながるわたしたち」、6年生「世界とつながるわたしたち」がある。各学年にアルファベットと6年生には名前や単語、文の書き方の記載がある。「コンピューターを学習にいかそう!」ではQRコードからのコンテンツ利用が紹介されている。 ○巻末には「Try it」や絵・コミュニケーションカード、6年生に「Going to Junior High School」がある。別冊「My Picture Dictionary」に「Can Doの樹」、ローマ字表がある。 ○デジタルコンテンツでは、ストーリー、チャンツ・歌、モデル映像、デジタルワークシート、資料映像などが掲載され、QRコードから見られるように工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○英語・日本語ともに、ユニバーサルデザイン書体と、なぞり書き用書体が使用されている。4線の第2線は点線で、第2線と第3線の間は広い。アルファベットを書く初期段階では、モデル字を左利きの児童にも見えるよう配慮されている。 ○全体的に文字は小さめで、行間はやや狭い。用途に応じて、文字の大きさが使い分けられている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○各単元が4段階で構成され、単元毎に Our Goal が示されている。単元末の「Over the Horizon」では異文化理解の内容が示され、「Sounds and Letters」では、「名前」「音」、「文」の順に学習するスモールステップの構成でできている。年間3回、学びを振り返り、伝える力を確かめる「Check Your Steps」があり、内容の定着を図ることができる。別冊の「My Picture Dictionary」がある。 ○学習者用デジタル教科書では、教科書の登場人物と模擬会話ができたり、動画字幕のON/OFF機能を活用できるなど、児童が自分のペースで学習を進められる工夫がある。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">Junior Sunshine</p>	<p style="text-align: center;">9</p> <p style="text-align: center;">開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Let's Watch and Think」で新出語句や表現に出会い、「Song Box・Chant Box」で音に親しみ、「Let's Play」で練習、「Let's Listen」で聞く活動をして「Let's Listen and Read」「Let's Read」で、音声を読む活動へつなぐように工夫されている。 ○「Let's Try」で学習した語句や表現を使って、ペアやグループでのやり取りを行うよう設定されている。さらに、「Activity」では、単元ゴールの言語活動として、これまでに身に付けた力を用いて、発表できるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の「Follow Up」において、言語活動の目的・場面・状況を捉え、「Let's Try」や「Activity」のペア・グループ活動を通じて、新しい語彙や表現を繰り返し学習し、定着が図られるように工夫されている。「Activity3」では、これまでに身に付けた力を用いて単元のゴールの言語活動に取り組む。対話を通して、習得した知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力の育成へとつなげられるように構成されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Let's Try」「Activity」では、相手意識、目的意識をもって言語活動を行うことができるように場面設定が工夫されている。巻末のCAN-DOチェックでは、児童が見通しをもって学習に取り組み、自らの学習状況を振り返ることができるように工夫されている。各単元末には「Around the World」という異文化理解のパートがあり、また、身近な地域や自国の魅力を改めて考えることができるようにも工夫されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○5つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるように、各活動にマークで示されている。 ○各単元の目標達成に向けて、スパイラルに活動が配置され、5領域がスモールステップで、バランスよく扱われている。各単元の主な表現は「Chant Box」等で繰り返し扱われ、文構造等の気付きにつながるように工夫されている。 ○自分や身近な人たちのことから、地域や日本、興味のある外国のこと、思い出や将来のことへと話題を広げ、互いの考えや気持ちを伝え合う活動を全単元、ほぼ同じ構成にすることで、安心して考えや気持ちを伝え合う言語活動になる工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭には5年生に「Let's study English」、6年生に「Let's think and communicate」があり、英語学習の目的が示され、学習内容が写真と共に紹介されている。「Classroom English 授業で使える20の表現」と既習事項を確認する「Let's Review!」がある。 ○巻末には「Sounds and Letters」、表現のまとめ、アルファベット・ローマ字表、Map、学びを振り返る為のCAN-DOチェック、双六、巻末カードがある。別冊「Word Book」がある。 ○デジタルコンテンツでは、英語に親しむことができるアニメーションや多文化・異文化を知ることができる動画、単元のゴールの言語活動が実写映像で収録されている。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○英語は、独自に開発された手書き書体が使用されている。日本語にはユニバーサルデザイン書体が使用されている。4線は、第2線と第3線の間は広く、第3線は青線で、それ以外は薄い灰色の実線になっている。 ○英文と日本語文の大きさはあまり差がない。書く活動の手本が4線上に太字で書かれており、書き写しやすいよう工夫されている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元は4段階からなり、初めにGOALが明記され、活動の見通しをもたせる構成になっている。年3回「Let's Check」があり学習した英語が身に付いたか確かめることができる。世界への視野を広げる「Around the World」がある。2時間毎に「Small Talk」と毎時間毎に「Sounds and Letters」が示され、積み重ねができる構成になっている。音声から文字への学びのつながりが重視されている。別冊「Word Book」がある。 ○学習者用デジタル教科書では、授業の流れや復習に役立つ資料集等を掲載している。また、児童の様子に合わせて、独自のフラッシュカードを作成する機能がある。 	

<p>書名 項目</p>	<h1>CROWN Jr.</h1>	<p>15 三省堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「Panorama」で語句や表現に出会い、「Let's Watch/Listen/Speak」と、インプットからアウトプットへつながっている。「Sound/Word/Phrase Chant」で文字と音の関係、語句、表現を学び、「ABC Fun Box」で文字や音に親しむ工夫がされている。 ○「Small Talk」のトピックで既習表現を使ったやり取りをし、「Let's Play/Talk/Read & Write」と、学習したことを使ってやり取りをし、それを書く学習へ進め、「Let's Try」でゴールの言語活動へとつなげられるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各単元は「HOP」「STEP」「JUMP」の3つに分かれ、「HOP」で単元全体の学習を見通して、自らのゴールを設定し、「STEP」で言語活動に取り組みながら、語句や表現を身に付け、「JUMP」で学習した語句や表現を使って言語活動を行う構成になっている。「JUMP」ではコミュニケーションの目的や場面、状況が明確に設定された言語活動で思考力・判断力を働かせながら表現し、内容の定着が図られるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○児童が自ら立てた目標に向かって、グループ活動などを通して対話的・協働的に学び合える構成になっている。「HOP」では学びの見通しを立て、次の「STEP」で場面を通して語句や表現を身に付け、最後に「JUMP」で学習した語句や表現から自分で話す内容を選び、思考力・判断力を働かせながら表現できるよう工夫されている。また、「Hello, World」では異文化に対する理解が深められる題材や資料が配置されている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫> ○5つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるように、各活動にマークで示されている。 ○各単元の活動では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を中心としたものがスパイラルに学ぶことができるように工夫されている。各単元の主な表現は「Phrase Chant」等で繰り返し扱われ、文構造等の気付きにつながるように工夫されている。 ○各単元を一枚絵のパノラマで導入し、語句や表現が使われる場面や状況が示され、関心・意欲を高められるように工夫されている。また、単元の最後には学習した内容を統合的に使う言語活動を設定するように工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭には、5年生に「世界のあいさつ」、6年生に「世界のまちかど」があり、写真が掲載されている。また、「英語で言ってみよう」では、外国語活動で学んだ語彙や表現に触れ、身の周りのものや気分、国名など、基本的な語彙が絵とともに紹介されている。 ○巻末には「Story Time」「英語でこんなことができた!」やローマ字表、巻末カードがある。別冊「My Dictionary」には基本的な語彙や表現、CAN-DOリスト等が掲載されている。 ○QRコードから教科書ウェブサイトへアクセスでき、各活動のモデル動画や音声を必要に応じていつでも確認でき、ゲーム感覚で単語学習も行うことができる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○英語には専用手書きフォントが、日本語にはユニバーサルデザイン書体が使用されている。4線は、第2線と第3線の間はやや広く、第3線は青線で、それ以外は薄い灰色の実線になっている。カラーユニバーサルデザインの紙面構成である。 ○英文と日本語文の大きさはあまり差がない。書く活動の手本が4線上に太字で書かれており、書き写しやすいよう工夫されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○3つの大きなUnitからなり、各単元は「HOP」「STEP」「JUMP」で構成されている。単元初めの「Panorama」では一枚絵を用いて語彙や表現に出会い「Let's Listen」「Let's Talk」などの言語活動を通して語句や表現を身に付け、目的や場面、状況を考えて表現する。「Hello, World!」があり世界への興味・関心を高められ、巻末の「英語でこんなことができた!」では学習の振り返りができる構成となっている。別冊「My Dictionary」がある。 ○学習者用デジタル教科書では、語句・表現の学習用ゲーム、ポートフォリオ機能がある。また、ペン機能や機械読み上げ音声も搭載されている。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">ONE WORLD Smiles</p>	<p style="text-align: center;">17</p> <p style="text-align: center;">教 出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Let's Watch」で、映像を見て内容を捉え、「Let's Say It Together/Sing」で口慣らしをし、「Let's Listen」で聞き取り活動をする流れになっている。「Sounds and Letters」では単元で学んだ発音や表記を復習できる構成になっている。 ○ペアやグループで取り組む「Activity」、学習した語彙等を使い、単元の目標に関連した発表ややり取りをする「Final Activity」が設定されている。「Let's Read/Write」が新設され、1文ずつ読んだり書いたりするコーナーが設けられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の流れは、映像を見て概要を捉え、聞いて慣れ親しむ活動から、自分の考えや思いを伝える活動へつながるようになっており、インプットからアウトプットへと段階的に学習が進むように構成されている。単元内の「Let's Think」では、気付きや思考を促す問いが設定されている。また、「Final Activity」では、これまで学習した語句や表現を使い、自分のことについて表現する活動が設定されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Activity」や「Final Activity」では、ペアやグループで協力し合いながらコミュニケーション活動をする機会が設定されている。その中で励ましや相づちの表現が紹介されており、他者へ配慮した活動が行われるように工夫されている。「World of Smiles」では、海外に暮らす同年代の子供たちの声や学校生活などを紹介し、世界を身近に感じ、違いだけでなく共通点も感じられる紙面になっている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○5つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるように、各活動にマークで示されている。 ○文構造や基本的な表現の定着を図るコミュニケーション活動を、段階を踏んで配列されている。「Let's Say It Together」等ではさらに繰り返して定着させるよう工夫されている。英語と日本語の語順の違いについて扱っている部分もある。 ○聞くことから始まり、書いて整理した上で、やり取り・発表をする単元で構成され、学校や家庭など児童の身近な暮らしに関わる場面を中心としたコミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるような工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭には、学びのロードマップ「Welcome to One World Smiles」があり写真と共に1年間の学習の見通しが示されている。また「Classroom English」「Let's Start Together」では、絵資料と共に、学んだ英語の語彙や表現に触れられるように工夫されている。 ○巻末には、「My Word Bank」、歌やジングル、ローマ字表、アルファベット表、絵カード（5年生はシールが付属）、ワークシートがある。6年生には「My Book」が付属している。 ○QRコードからアクセスできる「まなびリンク」には「やり取り・発表の動画」「リズムに合わせた口慣らし・歌の音声」などのコンテンツがあり授業や家庭で学べる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○英語、日本語ともにユニバーサルデザインフォントが使用されている。4線の上下幅の比率は4:5:4で、第3線は青線、それ以外は薄い灰色の実線になっている。カラーユニバーサルデザインの紙面構成である。 ○日本語と英語の文字の大きさに差はない。全体的に文字は小さめで、行間はやや狭い。用途に応じて、文字の大きさが使い分けられている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元が「Let's Watch/Sing/ Listen/ Say It Together, Activity」でシンプルに構成されている。冒頭に1年間の目標を示し、児童の目標が設定できるよう工夫されている。年間2回ある「Let's Read and Act」では他教科との関連のある内容が示され、「World of Smiles」「Let's Look at the World」では異文化に触れられる。6年生の最終単元では、総復習として自分のことを書き、「My Book」にまとめる活動が設定されている。 ○学習者用デジタル教科書では、英単語を選択するとネイティブの発音が再生されたり、動画には字幕や速度調整機能が搭載されており、個別最適な学びができるよう工夫されている。 	

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">Here We Go!</h1>	<p>3 8 光 村</p>
<p>内 容</p>	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞ ○「Let's Watch/Listen」の順で段階的に学習できる工夫がされている。単元の初めのパノラマには「Story」と「Let's Listen and Point」があり、耳で聞いたり、指さしたりする活動がある。各ページに歌や発音、Small Talk が設定されている。 ○「Let's Try」には、学習した語句や表現を使って友達とやり取りを行う活動が、「Let's Write and Read」では書いたことを声に出す活動が設定されている。「Let's Speak (Write and Speak)」で自分のことを発表する活動へつなげている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○各単元は、3段階で構成されている。「Hop!」で単元のゴールを示し、見通しをもたせ、「Step1・2」では、聞く活動から始まり、話す活動を経て、読む・書く活動へとスモールステップで進んでいき、最後の「Jump!」につながる。「Jump!」では、慣れ親しんだ語彙や表現を読む活動や、映像を視聴し、考え方や表現の方法を広げる活動を行い、最後には自分の考えや思いを伝え合う活動が設定されている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○巻末の「Response」では、相づちや共感などの表現が示されており、相手意識をもったコミュニケーションが身につく工夫がされている。各単元の「Jump!」に、単元で扱う題材に関連して世界の12か国の小学生が映像で登場し、各国の文化に対する理解を深められるようにしている。「世界の友達」では各国の小学生の考えや暮らし方に触れることで、文化の違いや共通点を見いだすことができる工夫がされている。</p> <p>＜聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫＞ ○各活動が5つの領域別のマークで明示されている。目次に単元の重点領域のマークがあり、巻頭のCAN-DOリストでは、各領域別の振り返りができるようになっている。 ○各単元の目標達成に向けて、スパイラルに活動が配置され、5領域がスモールステップで、バランスよく扱われている。「Small Talk/Plus One」等では各単元での主な表現が繰り返し扱われ、文構造等の気付きにつながるよう工夫されている。 ○既習表現の活用場面を随所に設定し、児童が自分の思いを伝える際に既習表現を生かせるような工夫がされている。複数の単元の学習の後、まとめの言語活動を設定し、その学期までに学んだ表現を受容・発信する場面を用意している。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭には、5年生「こんにちは。友達になろうよ。」、6年生「英語で世界とつながろう」があり、写真が掲載されている。各学年でできるようになることでは到達目標 (CAN-DO) が「Let's Start」では会話のポイントや既習表現及びアルファベットが示されている。 ○巻末には、「Alphabet Time」、「英語の物語」や単語や文の書き方、ローマ字表がある。学びの足跡を残せる「All About Me」、及び別冊の「Picture Dictionary」がある。 ○QRコードコンテンツからは、場面設定やキャラクターの動きや表情を大切にしたアニメーションや実写の活動動画、リスニング音声などを視聴できる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○英語はオリジナル書体が、日本語はユニバーサルデザイン書体が使用されている。4線の第2線と第3線の間は広く、第3線は青線、それ以外は薄い灰色の実線になっている。カラーユニバーサルデザインの紙面構成である。 ○日本語と英語の文字の大きさに差はない。用途に応じて、文字の大きさが使い分けられている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○単元は「Hop!」「Step1・2」「Jump!」の3部構成である。単元末には、「Alphabet Time」で書く活動が設定されている。年間3回の「世界の友達」では、主に「聞く」「読む」活動を、「You can do it!」では、「話す (やりとり)」「話す (発表)」「書く」活動を行い、各領域の到達度を確認できるようになっている。巻末には、英語で自己表現をする「All About Me」や語彙や表現、心が通う受け答えをまとめた「Picture Dictionary」がある。 ○学習者用デジタル教科書では、必要な単語を登録できるほかに、活動後に児童が自己評価を書き込んで教師に送ることができるよう工夫されている。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">Blue Sky elementary</p>	<p style="text-align: center;">6 1</p> <p style="text-align: center;">啓林館</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の最初に「Introduction」と「Watch the Scene」があり、絵を見て場面や言葉の意味を推測する工夫がある。基本表現を知る「Word and Phrases」、音やリズムに親しむ「Jingle/Chant」、語彙や表現を聞き取る「Listen and Do」の活動がある。 ○「Activity」では、学んだ基本的な表現を使ってやり取りをしたり、単元の最後に自分の思いを発表したりする活動が設定されている。またそれぞれに「Tips」があり、コミュニケーションを円滑に進めるためのヒントが示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「とびら」では、学びの見通しをもたせる。「Step 1・2」では、新しい語彙や表現に慣れ親しみ、簡単なやり取りや発表の活動をする。「Step 3」では、「聞く」「話す」活動を通し、慣れ親しんだ語句や表現を用いて、コミュニケーションを楽しむ活動となっている。また、年 3 回の「REVIEW」では、提示された場面においてどのような英語で伝えればよいのか考え、表現する活動が設定されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末についている付録シートには、会話の中で使える様々な相づちや質問の表現が示されており、相手意識をもったコミュニケーションが身につく工夫がされている。「Did you know?」では、異文化や日本とのつながりなど、単元に関連するトリビア的知識を紹介し、児童の興味関心を引き出す工夫がされている。また、異文化情報から、外国の文化や生活を理解する心を育てる工夫もされている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○5つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるよう、各活動にマークで示されている。巻末の Can-Do List で、各領域別の振り返りができるようになっている。 ○インプット→ミニアウトプットを繰り返し、表現に慣れ親しむことができるように配慮されている。紙面に表現を明示したり、「Jingle」や「Chant」等を入れたりすることで、繰り返しながら、文構造等の気付きにつながるよう工夫されている。 ○言語材料の使用場面や、児童が目指すゴールのイメージをアニメーションで提示されており、どんなことを話しているのか、児童が想像しながら場面や言語材料に触れることができるよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭にはアルファベットの一覧と「コミュニケーションに大切なこと」「Pre Unit」があり前学年までに学んだ内容を復習できるような内容となっている。6年生では教科書で扱う世界の国を紹介する地図が掲載されている。 ○巻末には「Story」、Word List、Can-Do List、絵カード「会話を楽しむフレーズ集」がある。5年生「英語でゲームをしよう」6年生「へボン式ローマ字表」の掲載がある。 ○QRコードでは、ゴールの言語活動のモデル動画や、音声・映像・単語クイズ・話すための「英文Maker」など、さまざまなコンテンツを利用することができる。 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○英語、日本語ともにユニバーサルデザインフォントが使用されている。4線の上下幅の比率は5：6：5で、第3線は青線、それ以外は、薄い灰色の実線になっている。カラーユニバーサルデザインの紙面構成である。 ○文字はやや小さめで、行間や書き込み部分にゆとりがある。用途に応じて、文字の大きさが使い分けられている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元が「とびら」、「Step 1～Step 3」で構成され、「Step 1・2」で語句や表現を身に付け、「Step 3」ではコミュニケーションを楽しむ構成になっている。読む・書くを学習する「Let's Read and Write」、世界へ視野を広げる「Did you know?」のコーナーがある。年 3 回ある「REVIEW」には、目的・場面・状況に応じて、相手意識をもって話す活動「Try」と情報を読み取る活動「Challenge」がある。巻末には「Word List」が掲載されている。 ○学習者用デジタル教科書では、白黒反転やルビふりなど特別支援教育の視点で配慮され、音声や動画の速度変更機能により各自のペースで学習を進められるよう工夫されている。 	

外国語科（英語） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	5年	96	133	112	116	110	132
	6年	96	133	112	108	110	132
2 新出総単語数	5年	527	738	506	472	506	720
	6年	182	19	162	196	206	57
	合計	709	757	668	668	712	777

○領域別教材数等（言語活動）について

※2は3の合計 3③は言語活動と本文を合わせた教材数

内容	学年	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館	
1 単元数 (Lesson, Program, Unit等)	5年	8	8	7	9	8	8	
	6年	8	8	7	8	8	8	
2 総教材数	5年	186	211	204	129	153	155	
	6年	284	203	195	122	160	172	
3 領域別教材数	① 主に聞くこと	5年	100	91	71	57	75	85
		6年	150	84	68	40	72	85
	② 主に読むこと	5年	1	31	34	16	27	21
		6年	37	35	30	24	31	22
	③ 主に話すこと [やり取り]	5年	36	47	43	25	17	18
		6年	19	49	39	14	12	17
	④ 主に話すこと [発表]	5年	7	9	26	9	11	16
		6年	11	7	28	13	16	17
	⑤ 主に書くこと	5年	42	33	30	22	23	15
		6年	67	28	30	31	29	31

○題材について

内容	学年	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
1 世界の人々や日本人の日常生活や 風俗習慣に関する題材数	5年	11	10	7	12	11	11
	6年	11	9	9	9	11	8
2 日本の伝統文化に関する題材数	5年	2	4	0	2	0	0
	6年	1	1	2	1	1	1
3 外国の文化に関する題材数	5年	2	5	2	2	1	4
	6年	2	2	3	2	0	1
4 日本や外国の物語に関する題材数	5年	0	0	3	1	1	1
	6年	0	0	3	2	1	3
5 世界や日本の地理、歴史、自然に 関する題材数	5年	1	2	3	1	1	1
	6年	2	3	0	3	2	1

○その他

内容	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
アルファベットに関する活動数	52	17	14	18	21	14
動画を活用した言語活動数	90	51	98	35	77	68
巻末付録内容	19	6	16	19	7	23
巻末ワードリスト単語数	709	757	668	668	712	777
最長読み物教材総単語数	45	59	48	98	45	141
QRコードの数	122	106	101	112	93	250